

## 2015年度第2回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催講演会開催報告

新潟大学大学院医歯学総合研究科 共催  
一般社団法人 新潟県歯科衛生士会 後援  
新潟県歯科医師会 後援  
新潟県言語聴覚士会 後援

**テーマ** 「嚥下障害の臨床・研究最前線」  
**日時** 平成 27 年 11 月 29 日（日） 10 時～16 時  
**場所** 新潟大学歯学部講堂  
**参加者数** 121 名  
**参加企業** 5 社

### タイムスケジュール

10:00-10:05 開会あいさつ  
10:05-11:05 講演 1  
講演名 新たなる摂食嚥下リハビリテーションの視点と取り組み  
講師 柴本 勇先生（聖隷クリスファー大学リハビリテーション学部 教授，言語聴覚士）  
11:10-12:10 講演 2  
講演名 地域での食支援～管理栄養士ができること～  
講師 江頭文江先生（PEACH 厚木 代表，管理栄養士）  
12:10-13:10 休憩 企業展示  
13:10-14:10 講演 3  
講演名 準備期・口腔期のバイオメカニズム ～舌圧研究から見えてくるもの～  
講師 小野高裕先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野 教授，歯科医師）  
14:15-15:50 報告「嚥下障害専門医育成に向けた取り組み」  
平澤貴典先生（新潟市 ひらさわ歯科医院）  
西根恵子先生（宇都宮市 ともえ歯科医院）  
野澤太郎先生（新潟市 のざわ歯科クリニック）  
新川いくみ先生（氷見市 しん川歯科医院）  
河野雅之先生（新潟市 明倫短期大学付属歯科診療所）  
15:50-16:00 閉会あいさつ

## 概 要

本講演会では「嚥下障害の臨床・研究最前線」をテーマとして、井上先生からの開会あいさつの後に、3名の講師による講演ならびに新潟大学医歯学総合病院での臨床研修を経験した5名の先生から症例報告が行われた。

柴本先生には、言語聴覚士として摂食嚥下リハビリテーションに関わったこれまでの歴史を振り返っていただいた後に、岩手大学工学部と取り組んでいる新たな研究紹介、ITを駆使したリハビリテーションツールの開発、メディアを通じた活動などを紹介いただいた。江頭先生には、病院勤務から地域での活動を通して管理栄養士としてできること、やられてきたことを種々の症例を紹介いただきながら解説いただいた。管理栄養士としてのみでなく、地域への貢献を目指す一個人としてのフットワークが必要なことを感じさせた。昼食をはさんだ午後の講演では、小野先生から歯科補綴学にとどまらず、嚥下障害に関わる上で欠かせない機能としての舌運動評価を含めた準備期、口腔期の評価、さらに咽頭期の機能評価についての最新の研究結果を紹介いただいた。

報告では、「嚥下障害専門医育成に向けた取り組み」と題し、辻村先生から本取り組みの概要説明が行われた後に、昨年度から本学にて研修を行ってきた平澤先生、西根先生、野澤先生、新川先生、河野先生から各症例を紹介していただいた。新たな臨床分野を修得する上で自分の症例を振り返ることから学ぶことの重要性や達成感を感じているとの感想を得た。各発表者の講演時間が延びたことで、十分な総合討論を行う時間がなかったものの、以下のアンケートにあげる様々な感想や意見をいただいた。

休憩時間には、企業展示会場にて活発な情報交換が行われた。

最後に井上先生から次年度の計画などの紹介が行われ、盛会のうちに終了となった。

## 参加者によるアンケート結果（有効回答数 86 名 回答率 71%）

### 1. 参加者の性別

①男性 27 名 ②女性 54 名 ③無回答 5 名

### 2. 参加者の年齢層

①10 歳代 0 名 ②20 歳代 9 名 ③30 歳代 26 名 ④40 歳代 21 名 ⑤50 歳代 20 名  
⑥60 歳代 7 名 ⑦無回答 3 名

### 3. 参加者の職業

①学生 6 名 ②会社員・公務員 6 名 ③医療関係者 64 名 ④その他 5 名 ⑤無回答 5 名

※③の内訳

医師 2 名，歯科医師 14 名，言語聴覚士 16 名，歯科衛生士 14 名，管理栄養士 11 名，看護師 5 名，介護職 1 名，無回答 1 名

### 4. 今回の講演会は有意義なものでしたか

①まったくそう思う 58 名 ②まあまあそう思う 26 名 ③どちらとも言えない 1 名  
④あまりそう思わない 0 名 ⑤全くそう思わない 0 名 ⑥無回答 1 名

### 5. 今回の講演会はあなたの興味に対して適切でしたか

①まったくそう思う 47 名 ②まあまあそう思う 34 名 ③どちらとも言えない 3 名  
④あまりそう思わない 0 名 ⑤全くそう思わない 0 名 ⑥無回答 2 名

### 6. 講演内容の難易をどう感じましたか

①非常にわかりやすかった 37 名 ②まあまあわかりやすかった 40 名  
③どちらとも言えない 3 名 ④あまりわかりやすくなかった 0 名  
⑤まったくわからなかった 0 名 ⑥無回答 2 名

### 7. 今後このような主旨の講演会を開催することについては

①非常に賛成する 71 名 ②まあまあ賛成する 11 名 ③どちらともいえない 3 名  
④あまり賛成しない 0 名 ⑤まったく賛成しない 0 名 ⑥無回答 1 名

## 8. その他の意見

- ・最新トピックス等を挟み込んでもらいたい.
- ・歯学部摂食嚥下リハ科があることを初めて知りました.
- ・訪問しているが、今日の講演は非常に参考になりました。わかりやすく、とてもよかった.
- ・栄養士さんの話も今まであまりなく大変良かった.
- ・基礎と臨床のバランスが良く、有意義な研修会でした.
- ・他職種の多様な取り組み、視点などを学べ、大変興味深いです.
- ・発表者でありましたが、勉強不足でした.
- ・今回のような、嚥下機能やリハビリに関する講演と症例報告の構成が大変良かったです.
- ・ぜひ、訪問リハのケースもあると良いです.
- ・舌圧研究は難しかったです。参考になる点は多くありました.
- ・大変有意義な時間を過ごすことができる講演ばかりでした。歯科医の先生方だけでなく私たち栄養士もこのような場で講演できるよう精進します。職種間で意見交換できるような機会を設けていただけると幸いです！
- ・とても有意義な講演会でした。ありがとうございました.
- ・歯科衛生士が活躍できること、していくべきことなどについても知りたいと思います.
- ・具体的な多職種連絡の方法（院内・外来ともに）、スタッフ全体で日々のケア（Nsが）行える取り組みと結果など.
- ・非会員であっても、もう少し参加費が安いとありがたいです.
- ・新潟における地域連携の事例および歯科やリハビリ・栄養士の地域での課題

# 講演会風景







